

# やなせたかしと短大生

矢口裕康

## あんぱんまんと柳瀬嵩

二〇〇二年度児童文学（保育科1年）始動のテーマは、「アンパンマンは何故子どもに人気があるのか」を通しての、各学生の子ども観の具体化をであった。

授業にはアンパンマン絵本（『アンパンマンとつみきのしろ』一九八四年・キンダーおはなしのえほん）・大型絵ばなし（『あんぱんまん』『アンパンマンとかげくんくん』フレーベル館 A全判59・4×84・1cm・各12場面・多色刷り）計3点を用意してのぞんだ。これらの作品を味読する前に、受講してくれた学生に4つの質問を試してみた。その4つとは、

- ① あんぱんまん、どんな表字ですか。
- ② あんぱんは好きですか、嫌いですか。
- ③ あんは粒あんですか、漉しあんですか。
- ④ あんぱんまんは好きですか、嫌いですか。

である。物事は何事も二者択一ではないので、②③④にはどちらでもないとか両方共好き・嫌いという答も出現してきた。

さて、二〇〇二年度受講生の結果から、アンパンマン人気的一端を先ずさぐってみよう。

(I) 私は、学生に何かを表現してもらおう際、日本語表字としての、ひらがな・カタカナ・漢字等を駆使して、今の自分を具体化することを提示している。いわゆる自分なりの表字を一つひとつの行為をとおして、発見し、みがいてゆければと思っている。

さて学生から出現した表字は次のとおりである。

アンパンマン (125人) あんぱんまん (50人) あんぱんまん (23人) あんぱんまん (7人) あんぱんまん (4人) ANPANMAN・あんぱんまん (各3人) あんぱんMAN・あんぱんまん (各2人) AnPam an・anpanマン・ANPANマン・アンパンman・あんぱんman・安パンマン (各1人)

と15種の表字があった。あん、そしてパン、まんをどう表字するか悩んだ結果である。「安パンマン」の安を、安っぽいとるか安らか・安らぎ・安心どちらにとった上の表字かによっても大きな違いがでてくる。この表字をした学生は後者の意味での安パンマンであった。しかし、やはり、圧倒的に多かったのは「アンパンマン」125人であった。現在、やなせたかしが表字として使用し、かつテレビ番組・絵本でもアンパンマンの表字であるので、当然の結果といえよう。また大型絵ばなし『あんぱんまん』も紹介したこともあってか、あんぱんまんの表字が「好き、しっくりとくる」とした学生も50人とかんりの支持であった。

やなせは「アンパンマン」絵本第一作を、「あんぱんまん」と表字し、大型絵ばなしも同様の表字としている。やなせは、『アンパンマンの遺書』（一九九五年 岩波書店）の中で、「あんぱんまん」の表字について、次のように述べている。「ところで、アンパンマンと片仮名になったのはもつと後のことで、最初の絵本は『あんぱんまん』と平仮名である。つまり、①幼児絵本は平仮名という公式にしたがった。片仮名にかえたのは、②パンという感じがどうも片仮名でないとぼくにはぴんとこない。③記号には過ぎないが、あんぱんとアンパンでは微妙にちがう。そしてぼくの好きなのはアンパンの方である（①②③は筆者による）」と、あんぱんまんの絵本タイトル表字は、出版社側の意向もあつてか、当時の子どもむけの絵本タイトル表字は平仮名が基本ということもあつてのものであつた。私としては、アンパンはあんぱんの表字ではと思つていたので、大型絵ばなし『あんぱんまん』に出会つた時、感激したしだいである。作品にとつてタイトルは、読み手にとつて入り口となる顔でもあるので、表字法にも力をいれるのは当然と思つている。しかし、やなせにとつてはアンパンマンの表字のほうがしっくりくるとのこととで、現在にいたつていのである。あんぱんは日本で創作されたパンである。ということから表字も見出すと、私個人としては「あんぱんまん」と表字する方がしっくりとくる。

(II) さて、上述のこともふまえ、アンパンマンという主人公を考えるにあたつて、あんぱんそのものからも学生に問を發してみた。

「あんぱんは好きですか、嫌いですか、さてあんは粒あんですか、漉しあんですか」という内容である。

あんぱんは

好き (129人) 嫌い (56人) どちらでもない (35人) わからない (7人)

あんは

粒あん (70人) 漉しあん (116人) 両方好き (18人) 両方嫌い (14人) どちらでもない (4人) わからない (5人)

この結果であつた。漉しあん116人、粒あん70人と二〇〇二年入学生は、漉しあん派の方が有位であつた。私個人としては、あんこというと粒あんの食感が好きということで粒あん派である。しかし粒あんの食感が嫌いで、漉しあん派という学生も多かつた。また、中には両方好き・両方嫌い・どちらでもない・わからないとの解答もあり、学生一人ひとりのあんに對する思いも様々である。

アンパンマンの顔、おそらくあんがつまつていふと思う。さて、このようなことも自分なりにイメージしてみた上で、アンパンマンを主人公とした作品を語ると、一味違つたよみとして、きき手へと届くと思うのである。アンパンマンの人気の一つは、顔も私達の身近にあつたパン・アンパンにしたことにより手に支持を得る一因だと思ふので、余計にこの説明も大切なことであろう。

(III) 最後に、アンパンマンという主人公のものについても学生に問うてみた。ほとんどの学生が、アンパンマンという主人公は知っており、かつ子どもの時、テレビ番組・絵本・紙芝居等とおおしてか、何らかの形で出会つていふ。このアンパンマンという主人公に對してどう思うか、今現在の自分の思いもまとめてもらった。

アンパンマンを

好き (180人) 嫌い (16人) どちらでもない (24人) わからない (7人)

であつた。

アンパンマンを好きと答えた学生には、ストーリーの単純明快さ・キャラクターの多彩さをあげた者が多かった。しかし、ここでは嫌いと答えた学生に着目してみ、そこからアンパン人気の秘密をさぐってみよう。

○キャラクターは好きだけど、話はどうでもいい。

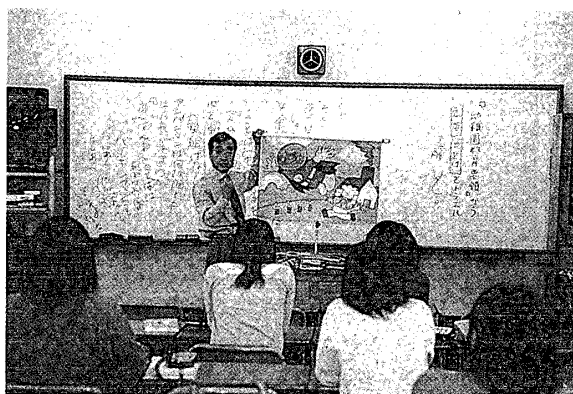
○最終的にアンパンマンが助けるパターンが、あまり好きじゃない。

○テレビで見るかぎりパターン化している。一回やられて新しい顔をもらって勝っている。たまには負けてほしい。

○運がよすぎて負けることがないから。

○小さい時は素直に見ていたが、だんだん顔が食べられるあんパンマンを見ると、少しばかり「ふくざつ」になってしまう……(笑)。成長していると、いろんな物事を疑問に思うことができます。

○一つ一つのできごとに対して、大げさに感激したり大げさに悲しんだり楽しんだりするのが気に入らない。っていうか、私はあんぱんマンがうらやましいのかもしれないナ?!年を取るにつれて、素直に喜んで、怒ったり、泣きたい時に泣くってゆーのが難しくなるような気がする。その点、私から見るとあんぱんマンはうらやましい。私も、もっと感性



を表に出していけたらなあ……って思う。そして、好きって言葉のような気がする。

○あんぱんまんの顔は、世界中のお腹を空かせたこどもたちを、どこまで助けつづけていければいいのかな!ジャムおじさんは何回顔のあんぱんを焼きあげればいいのか!こどもたちは「ありがとう」だけ言ったら、食べつづけていいのかな?

○顔というものは自分が自分であるための印なのだから、その印を他人のために使うことは自分を消すことと同じだ。それに顔がなくなったからといって、また新しく作り出すことも、顔を変えているようで、他から見た時、自分だと分かってもらえなくなってしまう気がする。

○お腹の空いている人に自分の顔をちぎってあげたりして優しいけど、その分にあんぱんまんなは弱くなるし、また水にぬれたら、力が出なくなってしまうって自分を大切にしていけないから。

○矛盾している所。たとえばアンパンマンの自分の顔が汚れると力がなくなりますが、他の人達はそれがいい……とかです。

○歌が「愛と勇気だけがともだちさー」とかいつているからかな。人助けをするのもいいかもしれませんが、助けるくらいならバイキンマンと仲良くなる方法を見つけたいと思うからです。あと自分を犠牲にしてまで人の空腹を満たしてあげるなんて、かなりおせっかいだと思うからです。

○きらい。私はバイキンマンが好きです。理由はバイキンマンの方がきたないことがあるけど、アンパンマンは顔がぬれると使えないものにならないし、本当はバイキンマンは友達がほしそうで、かわいいから。アンパンマンとも本当は仲良くしたそう。

○バイキンマンには優しくないから。

○こまっている人を助ける所は好きだけど、ばいきんまんがやってきたとき一度は必ず負けて、ジャムおじさんに新しい顔を作ってもらわないと勝てないから嫌い。

○毎回「アンパンマンと○○マン」と最初に表字されるから。そして負ける場面が出て来たとしても、最後に必ず勝つから。

○想像上の話で、優しくて勇気があるけど、バイキンマンに一回負けて新しい顔になってやつと勝つから。

学生は、アンパンマンを嫌いとする理由も、話の主題・構造そして顔に着目している。私達人間にとっても顔は大切な存在である。ゆえにアンパンマンの顔をどうとらえるかは、大切な視点であろう。私も顔を変えれば元気になる安直さに、この作品を好きになれない理由の一つである。しかし裏がえせば、この安直さは単純明快なストーリーづくりをささえているものである。

やなせは、バイキンマンに対してアンパンマンとのかねあいでも次のようなことを述べている。「アンパンマンは、ごく身近なひもじい人の味方となって正義を貫き、不滅な敵としてバイキンマンが登場。二人は世の中に永遠に続く光と影として闘う」と述べている。物語の単純明快さは、バイキンマン(影)・アンパンマン(光)との対立構造を確立することにより、さらに深化させたいといえる。子どもがアンパンマンを好きな理由は、さまざまであろう。しかし、あえてあげてみると、①単純明快なストーリー②対立構造の設定③300種以上にもぼる多種キャラクターの存在をあげることができる。

以上のような検討と並行して、アンパンマン三点も学生に味読してもらった。大型絵ばなしとしてのアンパンマン作品は二点あったので、どちらを先によんでほしいかも問うてみた。すると、

『あんぱんまん』(159人)

『アンパンマンとかげこんこん』(66人)

わからない(2人)

であった。やなせは、アンパンマンと表音したことについて、「僕が子どものときアンパンばかり食べていたからです。それに、ん」の字がたくさん入ると、子どもたちにはやるという言い伝えがあるんです。むかしなら『ヤン坊(ぼう)ニン坊トン坊』、最近なら『ノンタン』がそう。アンパンマンは三つも入っているでしょう。」と述べている。たしかに「ん」が三つ入った表音ということも魅力の一つであろうが、はじめてのアンパンマンに「あんぱんまん」との表音として出版されたことにも目をむけたい。出版界の児童書にはひらがな表音をということではないが、今アンパンマンがあたり前の中の「あんぱんまん」は違った輝きをみせてくれている。このことは、大型絵ばなし二点の選択でも、159人の学生の支持を得たことからみることができている。「あんぱんまん」という未知なるものに対する興味は、子どもにもでもある。ぜひ『あんぱんまん』という大型絵ばなしにも、たくさん子ども達に会ってほしいものである。

さて、大型絵ばなし『あんぱんまん』をよんでみると、次のような感想がでてきた。

④ とても衝動的だった。男の子が「顔を半分位食べる」というのはアニメでもあるけど、「全部」というのは見たことがなかった。全部食べられても空を飛んでいる事に怖くなった。あれを小さい子どもが見て、こわがらないのだろうか……と思った。それとも、「優しいヒーロー」としてとらえるのだろうか……。

私が小さいとき、この『あんぱんまん』を見たらどうしたのだらうか……。

う。不思議に思うのか、思わないのか分からないけど、よく絵本をよんでいた私はきつと見入っていただろう……。

児童文字の授業90分の空間は、自分の子ども時代も想起してもらえればと思っている。このこともふまえつつ、率直な感想を記している。しかし、大型絵ばなし『あんぱんまん』は、ドキドキハラハラをさせる場面がある。その内の一つが、雷雨の中首のないアンパンマンが飛んでいる姿である。まさに衝撃的なあんぱんまんデビューであったようである。この点、現在のアンパンマン作品に欠けている側面といえる。

⑧ 『あんぱんまん』は私も知っていた。けれど、やっぱりあんぱんまんは優しかった。子どもに顔を食べさせてあげたら、全部食べてしまったから、あんぱんまんの顔がなくなつたときの絵にショックを受けた。あんなに大きなあんぱんなんだから、全部食べることもないだろうに。少しは遠慮しろつと言いたくなつた。晩ごはんは腹に入らないゾ。しかもあんぱんまんは顔がなくても動いていた。なぜだろう……。私は、小学生のころから、体（あんぱんまんの）や顔をなげてなぜいつもすつぽりはまるのか、ジャムおじさんが作り上げてかまから出てくるあんぱんの後頭部は平たいのに、いつもあんぱんの顔は丸い、とか多くの疑問をもって見ていた気がする。

⑨ 『あんぱんまん』を聞いて、もうおどろきの連続でした。今テレビで見ているから、それと比較してしまつて、何もかもが気持ち悪いとか奇妙という感じでした。ジャムおじさんとの出会いも初めて知りました。今度テレビで『アンパンマン』を見るときは、今まではなにげなく見てたのに、今度は、前はこんなだったんだよな……あんなだったんだよな……などなど

いろんな事を考えながら見ることになるでしょう。それと、アンパンマンが好きか嫌いかで、嫌いという人の意見を聞いた時に、「年が増すにつれて素直に喜んだり、悲しんだりできない」という意見があつたけど、すごく納得した。でも、素直に表現できないっておかしな事ですよ。自分の気持ちが一番大切なんだから、好きなときに喜んだり悲しんだりするべきだと思ひました。なんかすごく自分の中で大きなものをえた一時間になつた気がします。

児童文字の授業は、毎週月曜日・金曜日4時限目各130人弱ぐらいの学生の参加でおこなつている。この中で、学生が思い感じ考えていることは様々である。そのことを感想として90分へとつなげていっている。こんな学生の感想でもある。

⑩ 『あんぱんまん』のかみしばいを見て、最初つまらないなと思つていたけど、先生が読んでいるうちに、自分が小さい頃味わつたようなドキドキ感をおぼえながら話を聞いていた。小さい頃に先生にかみしばいを読んでもらう時は、ハラハラ・ワクワクしながら目も耳も向けていたけど、最近はそうやって何かに注目したりドキドキ・ハラハラする事がなかった。これが、たぶん個性を忘れた大人といものかなつて思う。『アンパンマン』『あんぱんまん』『つぶあん』『こしあん』色々考え方は人によつて違う。しかし、それが個ども（注筆者による造語。子どもは一人ひとり個性・個人差を形づくつてゆく違う存在としての、個どもである）からもつている。その人の個性になるのだと思う。保育士になると考えているのなら、一人一人の個どもの個性・個人差をひきだしてあげられるようにならなくてはならない。だから私もその前に自分なりに自分創りをめざして、

自分を発見理解しようと思う。『アンパンマンとかげくん』のお話も早く聞きたいし、目・心で受け取められるように、もっと感受性を伸ばしていきたいと思う。(注は筆者)

私の作品選択の視点を一つといわれたら、「自分なりにハラハラウキウキドキドキワクワクを感じたものを聴き手へ」をころがけている。その視点をもつての、大型絵ばなし『あんぱんまん』『アンパンマンとかげくん』そして絵本『アンパンマンとつみきのしろ』の選択であった。これらを観聴きした学生一人ひとりが心の中で描いた波紋を、うまく子どもへ届けてほしいものである。

アンパンマンと子どもを考える最後に、ある学生のレポートからまとめてみたい。アンパンマンはたしかに子どもに大人気である。しかし、アンパンマンと子どもをめぐって、次のような出来事が記してあった。

「『あんぱんまん』を観聴きして、あることを思い出した。私と同じ年齢で4才になる子どもをもつ友人がいる。(20才)その子をあずかった時に一緒に『アンパンマン』の絵本を持ってきたので、『読んで!』と言われるたびに何回も読んでいた。しばらくして、友人に聞いていたとおり、眠くなつたのか、その子は不機嫌になり私や物に少しあたりはじめた。その時に持っていた人形をたたいたりふみつけたりと、あまりにもひどかったので『お人形さん痛いんじゃないかな?』と聞いて、そういうことさされたら痛くて嫌でしょ?』と言うと、その子は『ケガをして、イタイ、イタイしても、新しくなるよ!』と言ってきたのだ。私はものすごくびっくりした。どうやら、その子は、人形の腕がはずれてもいつかまた新しい腕ではえてくる。顔がなくなっても新しくはえてくると思い込んでいたようだった。私がそれはちがうよ

と説明しても、いまいちわからないようで、友人に言ったら『最近あまりアンパンマンを見せないようにしているんだけど……』という返事が返ってきた。(友人も悩んでいたらしい)アンパンマンは子どものヒーローと思っていた私にとって、そのことはあまりにもショックで考えさせられた。子どもの中には、私の友人の子のように、テレビや絵本でアンパンマンを見て、ヒーローというだけでなく、そのような考えをもつ子どももいるのだ。その後の根気強いみんなの説明もあって、その子の考え方は変わったので良かったが、誰も気づかずにあの子がそのまま成長したらと考えると、とても恐しくなった。(このあいだ友人と話をしたら、人間や人形はアンパンマンのように顔が新しくならないとわかったその子は、アンパンマンを嫌いになったそうだ。友人いわく、「自分の中のヒーロー像がくずれてしまったからじゃないかな」ということだった)

アンパンマンをめぐっての、ある一つの出来事ではある。しかしアンパンマンのテレビ放映が、少なくともこの子どもには、このような影響をもたらしていたことを、心にとどめておきたい。たしかに作家やなせたかしも、子どもへどのように届くかということを意識しての作品づくりであることは間違いないであろう。しかし受け取られ方は様々である。ゆえに、作品をどう選択し、子どもへどう届けるかも問われてくるのである。

### 絵本『やさしいライオン』のやさしさ

柳瀬嵩といえはアンパンマンであろう。アンパンマンのテーマは、正義・愛・勇気、そしてやさしさであろうか。柳瀬の初期絵本に

『やさしいライオン』（一九七五年 フレーベル館）がある。あんなばんまんを検討のまな板にのせていた児童文字は、大型絵ばなしにも『やさしいライオン』の作品もあったので、これらも含めての展開とした。

すると、二人の学生から、こんな感想をもらった。

④ 小さいころから、この『やさしいライオン』をなんどもお母さんに読んでもらっていましたが、そのときはただお母さんが読んでくれるということがうれしくて聞いていました。今、また聴いてみて、すごく悲しい話だったんだと思いました。ブルブルが大人になっておりの中で、ムクムクのやさしい子守り歌が聞こえて、ものすごくいスピードで走っていく絵をみて、お母さんのことが“大好き”ということがすぐくつたわってきました。きつとこれを読んだ人は、やさしい気持ちがでてくると思います。

⑤ 今日は、とても寝むくて頑張って起きてました。この前の片づけをしていたら『やさしいライオン』の絵本が出てきてビックリしました。で思わず母に聞かせました。すると母は2〜3枚読むうちに寝てて、ショックでした。この前とこ（5才の）が遊びに来たので読みかかせをやってたら、「もう一回読んで読んで！」と3回も読まされました。何か本当に保母さん気分でしたとさ♡これからたくさん絵本を読み、色んな人に聴かしてあげたいと思います。😊

児童文学受講生のうち、明確に表明してくれた学生は二人であるが、子ども時代、お母さんから『やさしいライオン』を読んでもらっていたのである。長い歴史をもつ絵本を素材として授業をおこなうと、私にとっては思わぬ反応をきかせてもらうことがある。一九七

五年刊の『やさしいライオン』であるから、現在27歳、目の前にいる保育科一年生より、はるかに年上である。しかし、この種の反応と出会うと、絵本の命を、そして力を感じてしまう。さて『やさしいライオン』を、

1、やさしいとはどのような行為か。  
2、ライオンとはどのような動物としてイメージしているか。  
3、その後の物語りを創ってみよう。  
の三つの視点から、学生と共に探ってみた。

1、やさしいとはどのような行為か。

やさしいと一口で言っても、『広辞苑（第五版）』では、優しい・恥しい・易しいの三つの表字があり八つの意味があるとする。  
△優しい・恥しい

（動詞「痩す」の形容詞形）

①身に痩せるように感じる。恥かしい。  
②周囲や相手に気をつかって控え目である。つつましい。  
③さし向かうと恥かしくなるほど優美である。優美で風情がある。

④おだやかである。すなおである。おとなしい。温順である。

「気立てがやさしい」

⑤悪い影響を及ぼさない。「肌によさしい洗剤」

⑥情深い。情（じょう）がこまやかである。「やさしい言葉をかける」

⑦けなげである。殊勝である。神妙である。

⑧（「易しい」と書く）

⑦簡単である。容易である。「やさしい仕事」

## ④ わかりやすい。「やさしい本」V

授業中、ある部分をふやせ字とし、『広辞苑』の板書から、やさしさとはを見出してみようとする、次のような学生からの感想がかえってきた。

◎ 「やさしい」という言葉について、あんなにたくさん意味と漢字があるという事を初めて知りました。やさしさというと、どうしても「優しい」という言葉をうかべてしまいますが、私は「恥しい」という言葉の方が印象的でした。人には優しさと、恥しさと、易しさ、すべてが備わっている事がもっとも必要なのかもしれません。人を親切にしたり、思いやりを持って初めてできる優しさと、先生が授業中に何度も言っていた「周囲の人に気をつかう気持ち」からできる「恥しさ」がとても大事だという問いかけへと、先生の授業を受けてあらためて感じました。

『やさしいライオン』を味読する前に、「あなた達一人ひとりにとって、やさしさとは何ですか？ ということですか」という問いかけへの、自分なりの今現在のまとめあつての絵本ではと思つての、授業展開である。すると、やさしさとは、

- 周りの人のことを理解しようと努力すること。
- 人の気持ちを踏みにじられないこと。
- 人の気持ちを考えて発言、行動すること。
- 人の少しの変化（体調とか）にも気づいてあげられること。
- 誰に対しても同じ態度でいられること。
- 人の気づかない所で、いいコトをすること。
- あからさまに「やさしさ」をおしつけないこと。

と様々な思いが記された。ある学生は、

⑩ 「やさしさ」とは何か？ というのは、前から考えていました。

私は友達や大人（親せきや近所の人など）から「優しいね」と言われたりする。けれど、自分では、何でだろう？ と思ったりしました。自分では、別に何でも考えずにフツーにやっていることでも、他人から言われると変な気分になります。「私は優しくなんかない、もしかしたら、まわりの人によくみられたいだけの偽善者なのかもしれない」と思ってしまう。「やさしい」ってなんだろう？ 答えを出すのは、とても難しいけれど、私が考えた「やさしさ」は、

- 見返りを求めないで物事を行う人。
- 他人を許せる人。
- 他人のことを考えられる人。
- 悪いところがあつたら、本人に面と向かって言ってくれる人。

● 自分も他人も大切にすること。あと、私だけ思っていることかもしれないけれど、やさしさは、つよさもセツトだけといます。人にやさしくできる人が本当につよい人だと私は思っています。なぜなら、他人を許すのも、悪い所を本人に言うのも、結局、つよさ（ゆうき）がいるからです。私が言われる「優しい」は、人からよく見られたいとか、かわいそうだから（同情）で行っている「優しさ」なのではないかな？ と思うことがあります。それでは本当に「やさしい」ではないと思います。だって、「かわいそうは、結局、（自分より劣っている、自分より不幸なんだ）と、（自分でも気がつかないかもしれないけれど）心のどこかで思っているからだよ」と小学校のときの先生が言っていました。それを聞いて私はドキツとしました。私も「かわいそう」だから優しくして



いたような気がしたからです。私も、やさしくてつよい人になりたいなと思いました。なれるように努力します！

と記してきた。この学生も指摘しているように、やさしさに強さも必要で、かつかわいそうという表現もかねあわせて考えるべきであろう。また、かわいそうの対象として、よく障がいをもった人を想定することがある。かわいそうとかねあいで、私の障がいをもっている人に対する思いを授業中表明したところ、次のような思いを学生からもらった。

⑤ 私も昔から「かわいそう」という言葉は考えたことがありません。かわいそうというのは、自分が相手より上に立ち、その相手を見下しているからこそ出る言葉ではなでしょうか。私は小学校のときから、かわいそうという言葉はよい言葉ではないのかも……と感じていて、ずっと使っていません。だから、言っている人を見たり自分が言われたりするとすごく嫌な気になります。障害者・健常者という字や言葉もおかしいと思っています。その言葉じたいが差別になっていると思います。私は、そう思いながらも、つい心の中で障害者だと思っているのかもしれない。偏見を持たない、誰にでも同じ態度で接することができる人間になりたいです。

『やさしいライオン』という作品を味読する前に、自分にとってのやさしさに思いをはせまともた上で出会おうと、よみとり方も違うものである。

2、ライオンとはどのような動物としてイメージしているか。

ライオン (Lion) とは、

「ネコ科の哺乳類。体調約1.8メートル。ふつう茶褐色で毛は短

い。尾の端に黒い毛の総(ふさ)がある。頭が大きく、成長した雄にはたてがみがあるが、雌にはたてがみはなく体もやや小さい。百獣の王といわれる。草原に雌を中心とする家族群で生活、大形動物を捕食。アフリカからインドに広く分布していたが、南アフリカの一部・モロッコなど絶滅した地域が多い。獅子(しし)。」と『広辞苑(第五版)』には記されている。ライオンは獅子でもあ。ライオンについてもらいおん・Lion・獅子・しし・シン等々と表字できる。この表字も具体化する上で、自分なりにライオンという動物に対するイメージを具体化してもらった。

動物の中の王様・ボス・トップ(24人) ジャングルの王様  
百獣の王(2人) 自分の力を最大限に出して生きている かつこ  
いい(4人) 母と子の絆としてもすばらしい 親子なかよく 強  
敵 無敵 一生懸命生きている(3人) 苦労している 下の者  
子どもを大事にしているかんじ うちの家みたい(オスよりメスのほうが狩猟得意) 何でもできるスペシャリスト 家族を一番に  
考える家族思い(3人) しっかりとしてそうなかんじ リーダー  
性のある立派な存在 真の優しさをもつ生き物 のんびりしてい  
る さみしがりや(2人) 気が小さい 弱者 のったりゆったり  
しているかんじ 心やさしい どうどうとかまえている 迫力がある(7人) 正義感がある 力強い(4人) たくましい とても  
クール 強そう・strong・一番強い(39人) こわい・怖い・恐い  
(26人) 獰猛 かみつかれそう(3人) おそってくる 狂(強・  
凶) 暴(8人) たべられそう 近づくのに勇氣がいる 野獣 お  
そろしい 気性が荒い 猛獣 いつもおこっている 金髪 体が  
大きい・でかい(10人) 声が大きい 肉食(2人) 足が速い 歯  
もするどい みためがこわい 顔のまわりがひげだらけ ガオオッ

てかんじ(2人)毛なみがキレイ

と53とおりの多種多様な表現力であった。ライオンのイメージって、こんなものと思っているとひとことではいえない結果である。

さて、やさしい・ライオンをおさえて『やさしいライオン』を味読してもらおうと、次のような感想がとどけられた。

⑥ ライオンと書くと、ただの動物(感情はない、本能のままに生きている)のように思える。だから、絵本の中のぶるぶるはらいおんという気がする。「らいおん」というと強くやさしい感じがする。今日読んだ絵本はとてもやさしく、とても悲しかった。むくむくは人の子どもでもいっしょうけんめい育てて、しっかりしつげまでして、おかげで、ぶるぶるはサーカスのスターになれた。むくむくは、多分それで良かっただろうと思う。自分の子どもが立派になれたから。でも、ぶるぶるは自分が立派になることよりも、お母さんが恋しかった。この本で、やさしく、あたたかい気持ちを再発見できた。

⑦ ライオンときくと、「気性が悪い」「肉食」「怖い動物」など、やさしい“なんて全く思えないほど、悪い印象しかありませんでした。話に出てきた警察もそうだったのだろうと思いましたが。この話をきいて、人は見た目やイメージで周りを判断しがちだなあと思いました。ライオンも、気性の荒くない静かなライオンがいるかもしれない、いてほしいと思います。

との視点でもある。

3、『やさしいライオン』のその後の物語を創ってみよう。

『やさしいライオン』を味読しての感想で、

④ 今まで授業で読んでくれたものの中で一番あったかい話だっ

た。鉄ぼうでうたれてしまったけど、それでもなんだかあったかい話だった。人間のいない世界で幸せに暮らせている、いいなと思った。この続きがあったらいいなと思った。この続きを自分で作って、こどもに聴かせてみるのもいいと思った。ライオンって、なんとなくタンポポのようですね。

との提案をうけて、受講生みんなとその後の物語を創ってみた。

『やさしいライオン』(文と絵 やなせたかし作・17場面)の展開は、

①ある国の野外動物園にみなしごのライオンがいた。お母さん代りのむくむく太っていた雌犬のムクムクに、いつもぶるぶるふるえていたライオン・ブルブルは、色々と嫉もしてもらい、やさしく育てられた。

②立派なライオンになったブルブルと年をとったムクムクの別れの時がき、ブルブルは都会の動物園へ移され、はなればなれとなる。

③そして何年かたち、ブルブルは今ではサーカスの人気者になっていた。ある夜、遠くの方でムクムクのなつかしいやさしい子守歌がきこえてきた。

④ムクムクに何かあったと思ったブルブルは、檻を破り、母のもとへ走る。しかし町は大騒ぎとなり、ライフルをもった警官隊が追いかけて、二頭をみつけ、撃ってしまふ。

その後は、

⑤「ブルブルは、ムクムクを、しっかりと、むねに、だいて、たおれて、いました」

⑥「ゆきの おかの うえに、ブルブルの あしあとが、ついて、いました。でも、ふしぎな、ことに、おかの、なかほどで、あ

しあとは ふつつりと みえなくなっていました」

⑦「その よるの こと としよりの いぬを せなかに のせ  
た ライオンが とんでいくのを みたという ひどがな  
んにんも いました」

で幕をおろす、やさしいをテーマとした物語である。

学生の描いた『やさしいライオン』のその後は、たくさんの発想をもった作品としてとげられた。ここでは16点の物語にしほり、私が見出しをつけ紹介したい。

#### ① 人間のいない国へ

人間のいない国についたブルブルはようやく立ち止まりました。一晩中ずつと走り続けたブルブルは、ひどくつかれていました。息がハアハアハア……。とてもくたびれました。ブルブルは背中に乗っているお母さん（ムクムク）を背中からおろしました。みてみるとムクムクの体には血がたくさんついていました。なんと警官の撃ったたまは、すべてムクムクにあたったのです。ブルブルはとても泣きながら大声で「ムクムク!!お母さん」とさけびました。ムクムクはそれから目を覚ますこともブルブルに話しかけることもありませんでした。ただ、ムクムクの顔はとても笑顔でした。きっとムクムクはブルブルに久しぶりに会えてうれしかったのでしょうね。

#### ① 魔法の薬で

ブルブルとムクムクはどちらもケガをしていました。しかし、やさしいムクムクにそだてられたブルブルはこれまでにたくさんのイイ事をし、困った子どもや大人たち、動物までも助けてきたので、遠い国に住んでいるエライ王様が魔法の薬をさずけ

てくれました。この薬のおかげでブルブルもムクムクもすっかり元気になり、遠い遠い国で仲良く永遠に暮らしました。

#### ⑧ 生きかえる

2人とも天国へ。そして天国で神様で2人を生き返らせる。

それがアンパンマン



とジャムおじさん



でした……。



#### ① 月のみちかけは

ブルブルとムクムクは、くもの上で、2人で仲良く暮らしました。食べ物はもちろんです。はとてもおいしいのです。デザートを食べたい日は、月を食べます。だから、月の形は変化するのだあ〜!!!今も2匹は、空の上で楽しく暮らしています♡♡♡

#### ④ ブルブルのその後

ブルブルとムクムクは、お月さまに着いて2人でしあわせに暮らしていました。ブルブルはムクムクのために一生ケンメイ働きました。そんな姿を見ていたキラキラはブルブルのことをだあいすきになり3人で暮らすようになりました。そうするうちにブルブルとキラキラの子どももチョコチョコがうまれました。ブルブル、ムクムク、キラキラ、チョコチョコ4人の家族が、ドンドン多くなって、やさしいムクムクに育てられたブルブルは、やさしい一家を持つことができ、いつまでもズットしあわせに過ごしました♡

#### ④ その後のちがうムクムク

ムクムクとブルブルは2人のことを誰も知らない国に行きました。そして、そこで幸せに暮らしていました。ところがある日、ムクムクは年をとってしまいましたので、死んでしまいました。ブルブルは大泣きをしました。それからのブルブルはさびしい

毎日を送りました。そんなブルブルが道を歩いていたら時、小さな小犬が「おなががすいたよ」と泣いていました。ブルブルはやさしいライオンだったので、その小犬をおんぶして家に連れて帰りました。その小犬はブルブルが差し出した食事を残らず食べてしまいました。そしてブルブルは一人ぼっちだった小犬を育てることにしました。小犬は毛が『ムクムク』していたので、「ムクムク」と名づけました。やさしいブルブルに育てられたムクムクはやさしい犬に成長しました。2人はいつまでも幸せに暮らしました。

◎ あなたの想像に

ブルブルとムクムクは、人間が誰一人住んでいない国に行きました。そこは本当に幸せな所です。食べ物はいくらでも好きな事ができる。そして、ブルブルとムクムクのようにやさしいライオンとやさしい犬しか住んでいないのです。そして何よりも人間にうたれる心配がありません。こんな幸せな所で二匹の親子は本当の幸せを手に入れました。さて、ブルブルとムクムクはどうやってこの国に来たのでしょうか。それはあなたの想像にお任せします。

◎ あなたもステキな夢を

ムクムクを背中に乗せたまま、ブルブルは世界中を旅しました。お母さんと一緒に旅は、どんなに雨や風が強くてもとても楽しいものでした。ときにはおいしいものをたべ、ときにはきれいな夜空を飛びまわり、そしていつしかムクムクとブルブルの姿は世界中で有名になりました。ブルブルは時々旅先で出会った人間の子どもや大人や動物たちに玉のりをみせてあげたり、一緒に遊んだりしました。そんなブルブルの姿をほほえましくみているときが

ムクムクは幸せでした。二人は世界中を飛びまわり、お月様の世界にたどりつきました。そこはとても美しくやさしい香りがただよっていました。ムクムクとブルブルはそのお月様の世界で、ずーっとずーっと幸せにくらしました。たまに旅先で出会ったひとびとを夢の中で招待することもありました。ムクムクもブルブルもステキな夢をみました。世界中の人々もまたステキな夢をみました。きつと今夜、あなたもステキな夢をみるかもしれませんね。

◎ かぐや姫そしてアフリカ

ブルブルはムクムクと一緒に月まで飛んでゆきました。しかし月にはかぐや姫がいたのです。ブルブルとムクムクはびっくりして、ムクムクは腰がぬけてしまいました。けれど、いざいとかぐや姫は親切だったので1年だけ滞在することにしました。1年たったのでブルブルとムクムクは、本当に誰もいない星に行きました。けれど、誰もいないのはさみしいのに気づいたブルブルとムクムクは、地球に帰ってくることにしました。地球に帰ってきた2人は、アフリカの大地でほかの動物となかよく暮らしました。

◎ 父母ライオンとの出会い

ライオン親子は人間のいない動物王国で幸せに暮らしていた。その場所は緑もあり、とてもきれいで、争い事のない立派な世界だったという。ライオン親子のパパもいた。パパはその世界の王様だった。ライオン子は「パパ」と呼び、パパも「坊や」と叫んだ。ライオンパパ・ライオンママと子はその後幸せに暮らしたという。一生離れる事なく……。その頃、日本では、ライオンニュースがうわさになっていた。ライオンは絶滅の危機になりライオンを大切にしよう!となっていた。ライオンは人間

と仲良く一緒にすんだとき。

⑤ アフリカで本当のやさしさ

ブルブルはムクムクを背中に乗せてアフリカの草原に行きました。そこにはブルブルと同じ形をした動物やいろいろな形をした動物がたくさんいました。ブルブルは今まで動物園とサーカスにいたので自分の他にライオンを見たことがなかったので、ブルブルはビックリしました。みんなもビックリしました。だってブルブルの背中には犬のムクムクがいたのですから……。アフリカの草原では、犬なんて見たことがなかったので、動物たちの中にムクムクを見てから飛びかかってきたものがいました。けれど、ムクムクと、ブルブルが血を流していることに気がついたのです。それに気づいたのは、その王様のライオンでした。ライオンは、動物たちをおさえつけ、ムクムクとブルブルを助けました。そして、どうしてケガをしているのかときました。ブルブルは理由を話しました。そうすると、王様や、他のライオン、動物たちはとても怒り、人間たちをやっつけに行こう！といました。でもブルブルは止めたのです。「けいさつの人達が僕をうったのは、人間にケガをさせると思ってしまったからなんだ。だって僕はお母さんの子守歌が聞こえてきたから、うれしくて、ガオーっとさげんでたし、目もギラギラさせてたし、それにサーカスのものが少しこわれて、ケガをした人がいたからなんだ。だから、人間をやっつけるなんてやめて!!」ブルブルは必死でみんなを止めました。みんなも、「ブルブルがそこまで言うなら……」と納得してくれました。「ブルブルはやさしいね」みんな口々に言いました。そこでブルブルとムクムクは暮らすことにしました。それから何か経ち

ました。ブルブルは、やさしい性格からみんなに好かれ、その王様になっていたので、ムクムクはもう死んでしまっていたが、天国からブルブルのやさしさや強さをちゃんと見守っていました。

① ライオンの強さ

ムクムクとブルブルは夢を見ていました。人間がいなくて遠い所へ行く夢です。2人とも、とても楽しそうに笑っています。ずっとこんな風に過ごしたいと思っていました。……夢から醒めた時、2人は林の中にいました。ブルブルはムクムクに「起きておかあさん」と声をかけました。おかあさんは目を開けません。もう冷たくなっていました。ブルブルをかばった時に、鉄砲があたっていたのです。ブルブルは泣きました。おかあさんのそばで、ずっとずっと泣き続けました。もう一人なんだときみしくて死にそうでした。ウトウトしていると、おかあさんが夢にでてきて、こう言ったのです。「強く生きなさい。優しく、強いライオンになりなさい」ブルブルは決心しました。(強くなるう！たくましく生きよう!)そしてライオンは強いという印象がきました。でも忘れないで下さい。ブルブルのように優しい気持ちも、持っているのだという事を……。

⑩ やさしい粉

ブルブルとムクムクは、人間は優しい人間しかなく、そこは優しい物しかない世界に行き、優しい物どうして仲良く助け合いながら、幸せにぐらしました。そして、他の世界の動物や人間に「優しい粉」をふりまいて、みんなを優しい心にしていきました。ブルブルとムクムクは死んでいません。優しい世界に行きました。

## ⑤ 星になる

二人は空へとんでいき、大きな二つのお星様になりました。二人は死んでしまったけれど、二つのお星様はずっとよりそつて空にかがやいています。そんな二つのお星様をみていたぼうやがいました。ぼうやはお星様が大好きで、特に、その二つのお星様が大好きでした。そのぼうやがお母さんにいました。「お母さんぼくはお星様の研究者になつて、あの二つのお星さまに名前をつけるんだ」と。それから何十年めかのある日、ぼうやは見事に星の研究者になる事ができました。それはあの二つの星のおかげだと彼はいました。そして彼はいつまでもその星の事を見守りつづけたそうです。

## ⑥ 親子の星ブルブルとムクムク

ブルブルとムクムクは、月に向かっていった後、まず月へ到着し、月のたんけんに行き、何かを見つけた地表を歩いてみる。そして、そこから宇宙旅行をする。2人で順番は、水、金、地、火、木、土、てん、かい、めいの順で、周った。旅行中は、宇宙を自由自在にとびまわり、二人だけの世界が広がった。そして、タイムリミットがきた時、ブルブルとムクムクは月へ戻っている。2人とも疲れなんか表面には見えない。満足そうな顔をしている。だけど、やっぱり地球の生き物ブルブルとムクムクは星になった。そして、その星は、二つ☆続いているので、「親子の星ブルブルとムクムク」二人の伝説は今もずーっと残っている。

## ⑦ 子どもとやさしさ

実はあの銃撃の中、ぶるぶるは、むくむくをかばおうとして、一発の銃弾をあびていたのですが、恐ろしさのあまり、そんな

ことを忘れ、じつと身を伏せ様子をうかがっていました。むくむくを守るようにして。その時が来ました。ぶるぶるはむくむくを背にのせ、いちものさんに満月に向かって走り出しました。その後にはキラキラと星の橋がでています。ただし、その橋を渡つてぶるぶるとむくむくのいる月に遊びに行けるのは、子どもだけです。しかし、帰ってくる子どもはみんな本当のやさしい心を持つてくるのだそうです。ぶるぶるとむくむくは、どんなやさしい心をひき出してあげ、みんな幸せになつていきました。今でも、満月の夜には、星の橋がキラキラ輝いているそう。

『やさしいライオン』絵本そして大型絵ばなしを味読した後の物語創りである。物語創りのポイントとして

① ムクムクブルブルのその後、生か死か

② どこへゆくのか

を、それぞれの学生が工夫している。このその後の物語創りについて、ある学生は、

## ⑧ ムクムクとブルブルのその後について考えて、自分ではハッピーエンドにしたかったので、2人は生きたままにしました。

でも書いた後、色々考えたことがあります。今まで私が観聴きしたもので感動したもの等は、必ずしもハッピーエンドではなかったような気がします。作り話とわかっていても悲劇に感動したり、心を動かされることが多いです。たぶん……。だから逆に今回Happyendにしたのは何故だろうなー！と思いました。子どもがその方が喜ぶかなと考えたけれど実際どうなのかわかりません。子どもが本当に喜ぶ話はどういうものなのだろう。その答えがでるのはこの授業が終わるころでしょうか？一つ一

つの授業を大切にしながら自分なりの答えを見い出してみたいです。

との思いをもらった。

二〇〇二年前期、やなせたかしの五作品を素材として、「児童文学」という名の授業展開の一部をまとめてみた。まさに学生一人ひとりの自分なりの答えを一つずつ発見したことの連続あつての半年である。

(参考資料)

保育科1年DEFクラス99人による「やさしい」を色で表現すると、

ピンク色・ピンク・ピンク系(28人) もも色・桃色(6人)  
うすいピンク色・うすももいろ・ピンク+白・白とピンク(9人)  
淡いピンク、ピーチ(各1人) 黄色・きいろ・たまごいろ(12人) レモン色 あわいレモンっぽうきいろ うすいオレンジ  
オレンジ グリーン 若草色(各1人) 緑色・みどり(3人)  
赤・赤系統(3人) 水色・みず色(6人) 青色・青(2人)  
空の色 バッフアリン色 はだ色 シルバー 淡い色(各1人)  
白・しろ・白い色・白くい色(6人)(これ以降複数色 各1人)  
黄緑・黄・青・桃 暖色系の色・淡い色・パステルカラー・さくら色 マヨネーズ色のような白に少し黄色がかつた色  
ピンクとかオレンジとかキイロ ピンクor水色 ピンク山吹色  
黄色ピンク(桃色) ピンク・赤・オレンジ あわいオレンジ  
ピンク・草原のみどり 黄色+白 黄・赤

以上、多種多様な表現でした。